

子供と一緒に地域の環境調査 ～まちのお医者さんになろう ・春夏秋冬～

あおぞら財団 小平智子



四季を通じて環境調査

まちのお医者さんになろう！
(対象、西淀川区内の小学生)

- 春 タンポポ調べ
- 夏 セミのぬけがら調べ
- 秋 ハゼ釣り大会
- 冬 空気の汚れ調べ

毎回、大人も含めて100人近い参加者。

企画運営

- イベントの企画・運営

子どもの参画べんきょう会

区内青少年活動の指導者 (ガールスカウトリーダー・学童
保育所指導員等)、大学生等が参加(事務局:あおぞら財
団)

- 資金 子どもゆめ基金助成金
- 当日の運営スタッフ 大学生
(あおぞら財団インターンシップ生等)

春:タンポポ調べ

日にち:2010年4/24

場所:大野川緑陰道路

参加者:子ども40名、大人12名、スタッフ5名。

- セイヨウタンポポ(自家受粉)、カンサイタンポポ(他家受粉)
の見分け方を学ぶ。



学習



実際に調査



タンポポ分解(調査とは別班)



結果発表



夏:セミのぬけがら調べ

日にち:2010年8/17
場所:大野川緑陰道路
参加者:子ども76人 大人:35人(スタッフ含む)
講師:大阪自然環境保全協会

ねらい

- ・大野川緑陰道路に棲息するセミを調べる。
(アブラゼミの割合・個数)
- ・グループ活動を通じてお互い協力しあうことを学ぶ。



学習(大学生による紙芝居、セミの寸劇)



グループ分かれて調査



結果を新聞にまとめ、発表
(新聞は図書館等で展示)



秋:ハゼ釣り大会

日にち:10/16
参加者:子ども51人大人18人、スタッフ12人
場所:淀川河川敷
指導:緑陰道路サロン 世話人会

ねらい

- ・ハゼ釣り体験(食べる!西淀川)
- ・普段は危ないので近づかない淀川。
楽しい体験を通じて、生物や身近な場所の環境を学ぶ。



学習(大学生が紙芝居で説明)



ハゼ釣り(60匹 釣れました)



ゴミ拾い(ゴミ袋11袋分)



食べる(天ぷらに)



大気汚染の学習(公害患者さんの話) 測定
ピークフロー測定



結果をまとめる(地図と巨大年賀はがきに感想を書く)



冬:空気のよごれ調べ

日にち:12/27

参加者:子ども67人、大人15人の参加者とスタッフ7人

場所:西栄寺

協力:西淀川公害患者と家族の会

- ・西淀川大気汚染公害の学習
- ・ぜんそくの苦しさを知る
- ・実際に身近な場所の値がどうなのか、自分で調査、はかることで地域の環境に関心を持つ。



こんな良いことがあります

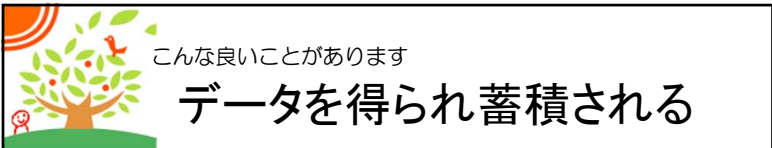
環境まちづくりの人材育成

①子供が地域環境に関心を持つ

西淀川との違いを比較する 物差しを持つ。(例:キャンプで何ゼミがいるか気にする。)

②みんなで協力し調査する大切さを体験を通じて学ぶ

例:キャンプで何ゼミがいるか気にする。



データを得られ蓄積される

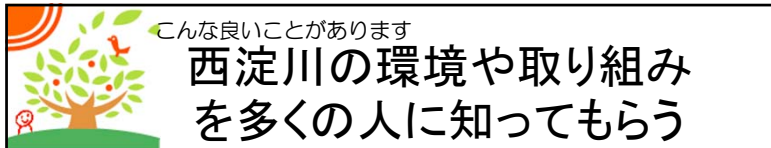
④年数を重ねることで、調査データを得られる。

例: セミのぬけがら調べ

年度	1999年度	2005年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
実施日	8/24	8月の20日間	8/18	8/28	8/18	8/17
クマゼミ	111	9148	913	240	1416	1794
アブラゼミ	0	7	7	0	26	51
合計	111	9155	920	240	1442	1845

⑤他地域と比べる(全国的な調査結果を集計している団体へ結果を提出)

大阪府身近な生物調査、タンポポ調査等



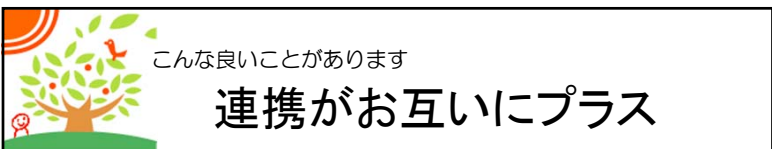
西淀川の環境や取り組みを多くの人に知ってもらう

⑥展示を通じて、知ってもらう。

例: 西淀川図書館や文化祭で子供がつくったセミ新聞を展示。親も見に来るので活動を知ってもらう。

⑦チラシを通じて取り組みを知ってもらう

例: 校長会で案内、区内全小学生にチラシを配布



連携がお互いにプラス

⑧参加する青少年活動団体にとって

子供たちに地域の環境問題を学べるプログラムが組み込まれる。

⑨大学生インターンにとって

地域環境問題を学習。企画・運営や指導者としての経験を積む機会。事務局NPO(あおぞら)にとって、多くの人に参加してもらえる。

⑩環境NPOあおぞら財団にとって

ミッションを遂行。